

横須賀ジュニアトップアスリートアカデミー<第4期生>開講

10月2日(金曜日)、ヴェルクよこすかホールにおいて、「横須賀ジュニアトップアスリートアカデミー開講式」を開催しました。

本来であれば4月から活動開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、半年遅れの10月からのスタートとなりました。



第4期目を迎える開講式には19名の選手とご家族、指導者など計40名程度が参加されました。



齋藤副会長のあいさつのもと、柏木理事長、片岡競技力向上委員長からはアカデミーの概要やスポーツ学習・講習会の内容を説明しました。

その後、選手から一言ずつ意気込みや今後の目標を語っていただきました。

第4期生は10月から活動開始し、2021年3月までの活動を予定しております。

横須賀市体育協会では、今後の練習や学習を通じて、選手たちの夢を実現できるようお手伝いしていきます。



横須賀 体協 ニ ュ ス 第104号

発行所 横須賀市小川町11番地
横須賀市文化スポーツ観光部
スポーツ振興課内
横須賀市体育協会
編集発行人 竹内英明
印刷所 (株)セイキ印刷

発行所 横須賀市小川町11番地
横須賀市文化スポーツ観光部
スポーツ振興課内
横須賀市体育協会
編集発行人 竹内英明
印刷所 (株)セイキ印刷

新たな一歩を踏み出す

横須賀市体育協会会長

竹内 英明



早いもので2020年も年の瀬が押し迫ってまいりました。

今年はずいぶん存知の通り、

新型コロナウイルスの世界的大流行により、スポーツをする機会がかなり限られてしまいました。東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとした、大規模なイベントが軒並み中止・延期となつてしまい、体育協会としても活動が制限され歯がゆい思いをした一年でした。

しかし、徐々にではありませんが活動の緩和がされ、ソーシャルディスタンスを保つなど新しい様式での活動を再開しております。会議はWEB会議となり、遠くにおいても相

手の顔を見ながら話すことができ、大会も無観客で実施し、ライブ配信で観戦するなど、現代のインターネットの普及による新しいスタイルが確立されているようにも見えますし、日常を取り戻していく様子はとても嬉しく思います。

ただ、新型コロナウイルスの感染者は増え続けているというのが現状です。現在も第3波が襲来しており、冬はインフルエンザも流行する季節であるため、一層気を引き締めなければという思いです。このまま増加に歯止めがきかない状況になってしまいますと、また活動が制限されてしまうこともあり得ます。気温も下がりがかなり寒いですが、こまめな換気をし、マスクの着用や消毒をすることでこの厳しい季節を乗り越えていきましょう。

怒涛の一年を振り返って

横須賀市体育協会理事長 柏木雅一



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、4月から始まる予定であった体育協会の行事はことごとく中止となり、なかなか理事の皆様と顔を合わせる機会がなく寂しく思っています。各種目団体のイベント等も中止せざるを得なくなり活動がストップしていることと思えます。早くコロナウイルスが終息して普段の行事やイベントが開催されることを祈るばかりです。

東京オリンピック・パラリンピックは一年延期となりましたが、報道等でアスリートの皆様が来年に向けて練習を始めているのを見て心強く思っています。

横須賀市内唯一のオリンピック内定選手・須長選手への支援の件について、先の理事会でご承認いただきました。誠にあ

りがとうございました。9月28日にはNHKで須長選手について放映され、当協会の取り組みも紹介されました。見た方も多いかと思います。元気に練習を再開されています。ぜひとも、オリンピックが開催されることを願っています。

さて、体育協会として何もできないまま一年を過ごすのではなく、できることから実施していくよう努力してまいりました。その中で、一番早く手をつけたのは、横須賀トップアスリートアカデミーの開講式でした。各指導者とともに協議を重ね、半年でできるカリキュラムを考えていただき、3月までの中で成果が出るように工夫していただきました。10月2日にヴェルクよこすかホールにおいて開講式を実施しました。期間は短いですが大きな成果を期待したいと思います。また、10月17日には、恒例になつております「精

神面を高める学習」を生涯学習センターで実施しました。寺本強先生をお迎えして、貴重な講演を聞きました。各種目団体の方々はその講演内容を持ち帰って、理事以外の方々にも伝えていってほしいと思います。よろしくお願いします。

後期も学習会・講習会を実施していきます。参加人数の制限もあります。ぜひご出席をお願いします。

今年度も、いよいよ残り3ヶ月の活動となりましたが、各種目団体や理事の皆様のご協力、支援のもと、コロナにも負けずできることを精一杯行つてまいりました。これから、さらにご協力をいただき、各種目団体、体育協会がますます発展していくよう願っております。

NPO法人よこすか総合型地域スポーツクラブ 活動状況報告

令和2年度の総合型地域スポーツクラブは4月より活動開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、緊急事態宣言が発令されたため、4月から6月まで3か月間の休講を余儀なくされました。

感染症防止対策を万全にして、7月6日より上の台教室が始まりました。参加者は徐々に増えてきましたが、桜小教室の開始は慎重に判断して7月21日からの開講としました。

また、横須賀市からの委託事業であります津久井小子ども教室も7月から開講しましたが、学校の休校措置や感染防止で参加者の激減が見られ、多難な時期も経験しました。しかし、いずれも指導者や関係者のご努力で無事に軌道に乗ることが出来ました。

12月1日現在の総合型地域スポーツクラブの参加者は上の台教室は132名、桜小教室24名で総数は156名となりました。

寒さも厳しさが増してきましたが、参加希望者はまだまだ増え続けています。コロナ禍においても各教室の指導者、運営者は頑張っていますので、是非近隣の皆さまのご参加をお待ちしております。

横須賀市弓道協会

会長 高見澤 守

事務局：望月かずえ 方
〒239-0813
横須賀市鴨居2-47-24
TEL：046-842-4408



須長由季選手激励式を実施しました

12月11日（金）横須賀市役所1階 市民ホールにて、横須賀市唯一の東京オリンピック内定選手である、セーリングRS:X級女子の須長由季選手の激励式を実施しました。この激励式は7月29日より当協会が実施していた「須長由季選手応援プロジェクト」の集大成ともいえる催しとなりました。

須長選手は今年2月にオーストラリアで行われた世界選手権において、日本勢最高位となる総合21位となり、ロンドンオリンピック以来2度目のオリンピック出場を決めていました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、東京オリンピックが一年延期となってしまいました。その影響は選手にも及び、資金面を含めた活動計画の見直しを余儀なくされてしまいました。

そこで、当協会では、須長選手に万全の状態でのオリンピック本番に臨んでもらえるように「須長由季選手応援プロジェクト」を発足し、7月29日～10月16日の期間でクラウドファンディングをはじめとした募金活動を実施しました。

その結果、皆さまのご協力のおかげで2,256,203円集まりました。

この激励式では、同時期に同様の活動をしていた横須賀法人会を中心とした「須長由季横須賀応援団」とともに、支援金目録を贈呈しました。

また、齋藤副会長、「須長由季横須賀応援団」の小池会長、上地克明市長、横須賀市議会 板橋議長から激励の言葉をいただきました。

最後には、須長選手よりオリンピックに向けた意気込みを語っていただき、式は終了しました。

本プロジェクトはこれで終了しましたが、オリンピック本番は来年の夏です。

横須賀から世界と戦う須長選手の活躍に期待しています!!



種目団体だより

横須賀市相撲連盟

理事長 相川 勇

今年は新型コロナウイルスの影響で体育協会内の多くの競技団体が特別な年になったのではないのでしょうか。

相撲競技は今年度、全ての大会が中止になりました。そこで、相撲連盟からは昨年7月に岐阜県で開催された第10回全日本女子相撲郡上大会について報告させていただきます。

この大会は、女子の小学生から社会人までが参加して行われる大会で、横須賀からは県を代表して4名の選手が参加いたしました。当日は気温35度の酷暑でしたが、小学5年生の部では内田 夢(野比小)、中学生の部では熊谷純花(公郷中)の両選手がともに第3位に入賞いたしました。兩名ともあと一步で優勝だったので、今年こそはリベンジで優勝を目標として

稽古に励みましたが、中止となってしまい残念な思いをしたと思います。

もし、来年この大会が開催されるならば、また稽古を重ね活躍することを期待しております。

相撲連盟では4月から10月まで大津公園相撲場で小中学生を対象に相撲教室を開いております。詳細は相撲連盟事務局までご連絡をお待ちしております。



横須賀ソフトテニス協会

理事 大津 信広

毎年、夏休みを利用して夏季ジュニア教室を市営大津コートにて開催しています。

ソフトテニスは、全国小学生大会も8月・3月に開催されていて、教室参加者から全国大会に出場した仲間もします。市

内小学生を対象に日本スポーツ協会公認スポーツ指導者と協会関係者が指導者となつて、ソフトテニスの基礎から試合ができるようになるまでの基本的な指導を行っています。

今年は新型コロナウイルスの影響により開催が危ぶまれましたが、各種ガイドラインに沿って感染症対策を徹底する等、関係者も細心の注意を払いながら教室の開催に臨みました。このような情勢もあつてか例年よりも少ない46名の参加となりましたが、参加者を学年別に区分して多くのボールを打つてもらふことを重点にした指導内容としたことで、子供たちが和気あいあいと楽しみながら技術やマナーを学ぶことができました。子供によつて技術レベルは違うものの、一人一人が一生懸命ボールを追いかけて、正しいフォームでボールを打つなど、ソフトテニスの楽しさを感じてもらふことができましたと思っております。

多くの皆様のご協力もあつて、7月25日〜8月23日までの土日計10回(7月26日は大雨につき中止)、

ケガや熱中症、コロナウイルスの感染者を出すことなく無事に教室を終えることができました。本当にありがとうございました。

参加者の子供たちには、今後もソフトテニスを続け、勝つ喜びや負ける悔しさ、仲間を大切にしたいやりや責任感などを学びながら成長していただきたいと思います。

栗本会長からも「ソフトテニスは中学・高校・社会人・お爺さん・お婆さんになつても続けられるスポーツですので、ずっと続けてもらいたい」と参加者へ伝えました。

来年はこの教室の広報活動を強化し、更に参加者を増やしていきたいと考えています。

最後に紹介となりますが、横須賀ソフトテニス協会では新たにホームページを立ち上げました。(yokosuka-softtennis.com) 協会には14のクラブが加盟していて、小学生から壮年まで幅広い世代にわたつて活動しています。ソフトテニスに興味のある方や若い頃にテニスを

されていた方、子供から高齢者まで、ソフトテニスを楽しんでみてはいかがでしょうか。

